



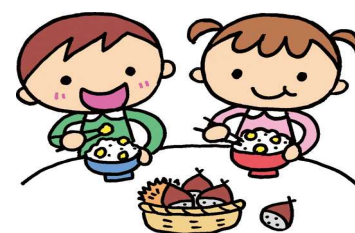
先日、大好きなそうめんを食べに郡上にある大滝鍾乳洞へ行ってきました。初めて入った鍾乳洞はとてもひんやりしてまるで冷蔵庫の中にいるようでした。鍾乳洞を抜けると、次は待ちに待った流しそうめんです。1人1つ、つゆの入ったカップをもらい、その中にゴマとわさびをたくさん入れました。ゴマとつゆがとても合っていてすごくおいしかったです。そうめんは、機械が流す仕組みになっていて、流れてくるそうめんはスピードがとても速く追いつかない自分が情けなく、思わず笑ってしまいました。でも、大好きなそうめんをたくさん食べるために、必死に食らいつき、巧みに箸を動かしました。徐々にそうめんをすくう事が楽しくなってきた、お腹いっぱい食べることができました。大好きなそうめんをたくさん食べることができとても幸せでした。みなさんはお家のそうめんにどんな薬味を入れていますか？私はラー油を入れることがあります！おすすめの薬味がありましたらまた教えてほしいです。（文責 太田）

●子どもが安心して元気に生活できるために保育教諭が子どもにすること

- * ゆったりとした生活のもとで夏の疲れを取り除き、規則正しい生活が徐々に出来るようにします。
- * 汗をかいた時には「汗、いっぱいかいたね。気持ち良くしようね。」と言葉を掛けながら着替えをしたり、こまめにふき取るようにしたりします。
- * 簡単な衣服は自分で着脱しようとする気持ちを大切に、出来ないところは保育教諭に手伝ってもらいながら、自分の力でやれるように関わり自信へと繋げていきます。
- * 排泄で失敗してしまった時には「気持ち悪かったね。」「今度はトイレでおしっこしようね。」と言葉を掛け、すぐに新しいパンツに履き替えられるようにします。
- * 遊びの中で簡単な決まりを知らせていきます。（使った玩具を元の場所に片付ける等）
- * 保育教諭や友達との関わりを持てるようままごと遊びの設定をします。
- * 秋の虫や草花に触れて楽しみます。（コオロギ・トンボ・コスモス・柿・栗等）
- * 量を加減しながら最後まで自分で食べられるように励まし、全部食べられた事を認め、一緒に喜びます。

●子どもの遊びと教育的活動

- * 夏の疲れから体調を崩す子が多くなります。
- * 簡単な衣服の着脱を自分でしようとするようになりますが、まだ十分にできない子は保育教諭に援助を求めようとします。
- * 尿意や便意をしぐさや言葉で知らせ、トイレで排泄しようとします。
- * 運動遊具を使ったり、模倣遊びをしたりして体を動かして遊びます。
- * 友達と関わりながら遊び、遊びの簡単なルールが分かり始めます。
- * 2～3人で簡単なごっこ遊びをすると共に、時には喧嘩がみられ、譲れない事があります。
- * 言葉が2語文から3語文になり、自分の経験したことを友だちや保育教諭に話そうとします。
- * 身近な素材を使って描いたり作ったりします。
- * パズル・紐通し・ペグ刺し等指先を使った遊びを楽しみ、黙々と遊ぶ姿が見られます。



<お願いします>

- *夏の疲れが出やすい時期です。睡眠・栄養を十分に取るようにして下さい。
- *衣服・靴・ハンカチ・コップ・タオル等**名前をはっきり書くようにしてください。また消えかけているものは書き直して下さい。これは、子ども自身、自分のものは自分で管理していくために大切です。**
- *爪が伸びている子がいます。遊ぶ時に大変危険ですので、週に1度は点検し、切るようにして下さい。
- ***9:00までに登園して下さい。給食等の準備がありますのでご協力お願い致します。また、欠席や遅刻される場合は必ず9:00までに連絡して頂けるようお願い致します。**
- *読書や芸術に適した季節になります。絵本を読み聞かせてあげることは、子ども達の想像力を豊かにすると共に、親子ふれあいの大切な時間となります。是非、絵本の読み聞かせをしてあげていただきたいと思います。
- *運動遊びが始まりますので、**足のサイズに合った靴を履かせてください。**また、スカートやガウチョパンツは怪我のもとになりますので、動きやすい服装で来てください。



「〇〇も使いたかった！」



最近、女の子の中で、プリンセスになりきることがブームになっています。「ありの一まの一♪」とドレスを着ながら歌を歌い、なりきることがとても楽しそうです。

ある日、「私も使いたかった！」と3人の女の子が、ドレスをめぐる言い合いになっていました。「Aが先に使うの！」とドレスを取り上げ、ついに泣き出してしまいました。その様子を近くで見ていたBくん。「どうしたの?」「欲しかったの?」と心配そうに声をかけてくれました。A。「Aが使いたかったの!」とBくんに話します。B。「じゃあこれかしてあげる。」と言って、Bくんは自分の持っていたしまじろうの人形を「どうぞ」と貸してくれました。そんなBくんの優しさにより、その場の空気が少しだけ和んだように感じました。

「私も使いたかった!」と言って、トラブルになることもあります。「かして」と言葉で友達に伝えられる子も増えてきています。「いいよ」と、貸してあげたり、まだ使いたかった時には「まってね」と言葉で伝えてやり取りが出来るようになってきました。

夏まつりの様子



金魚すくい♪



スマイル音頭~♪

わなげ♪

